

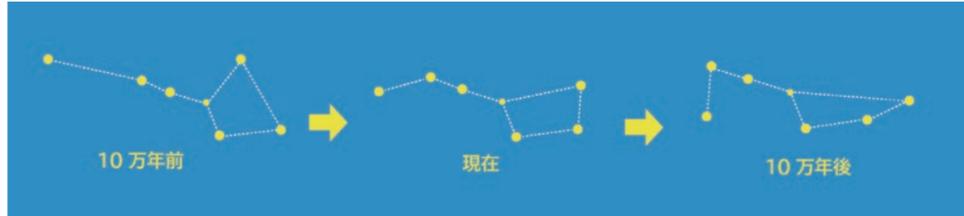
★3月の休館日：3日(月)、10日(月)、11日(火)、17日(月)、24日(月)、31日(月)



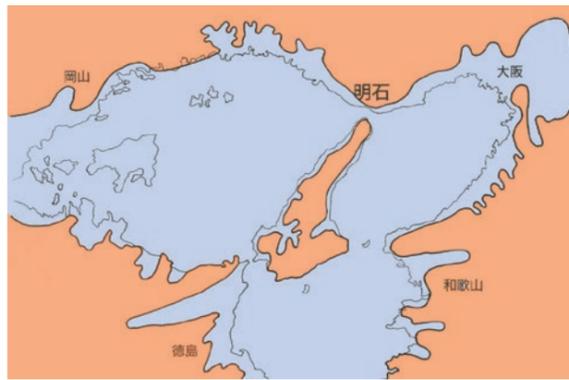
プラネタリウム番組のご案内

3月の一般投影 明石原人が見た星空

私たちが見上げる星空は、地球から銀河系を見わたしたものです。銀河系の中にある星たちは、銀河系の中で止まっているわけではなく、常に運動しています。星が、それぞれに動くことによって、星と星との位置関係が少しずつ変わっていきます。すると、地球から見たときの星の位置が少しずつ変わっていき、数万年、数十万年もすると、現在の星座などの形が変わってきます。例えば、北斗七星の星の並びも、10万年前や10万年後では、今と違ってきます。このような、見かけの星の動きのことを「固有運動」といいます。



10万年前の人々は、どんな星空を見上げていたのでしょうか？10万年前は、旧人の時代です。明石市内にある藤江川添遺跡からは斧の形に加工した石器が出土するなど、旧人の時代にも明石に人類がいた可能性があります。また、昭和6年には、明石市の西八木海岸で、化石化した人間の腰骨が発見されました。一時、旧人よりも古い原人時代のものだと考えられ「明石原人」と名付けられました。後の調査で、コンピューターで原人の骨との比較がおこなわれたり、骨が発見された砂礫層の年代が6~8万年前と推定されたりしたことで、この人骨は、もっと新しい時代のものである説が有力となっていますが、現在も論争は続いています。



10万年前の明石の地形 10万年前の陸地

明石原人と呼ばれる人々は、どのような星空を見上げていたのでしょうか？何万年も前の人々の生活については、想像しかできませんが、彼らが見たであろう星空は、シミュレーションで再現することができます。今月は、星の固有運動をテーマに、天文学から考古学のロマンに迫ってみましょう。

キッズプラネタリウム

★幼児や小学校低学年を対象とした子ども向けプラネタリウムです。土日祝 11:10~14:30~

ひしゃくぼしとはるのほし

★3/1(土)~4/13(日)★

軌道星隊シゴセンジャー(春場所)

★3/20(木・祝)・22(土)・23(日)★ ※事前申込制

こども天文教室

★小学4年生以上を対象に、テーマごとの天文の話題を少し詳しく解説するプラネタリウムです。どなたでもご参加いただけます。

★3/15(土)★9:50~ テーマ：二重星の観察

星と音楽のプラネタリウム

※事前申込制

★素敵な生の音楽とともに星空をお楽しみいただく特別投影です。

★3/8(土)★13:10~ <出演> Arbol y Viento (勝野 勉・正木 良久)

4月の一般投影 北極の星空・南極の星空

北極では、北極星が頭の真上に輝きます。また、南極では、「みなみじゅうじ座」などの明石からは見られない星や星座が空高くに輝く姿を見ることが出来ます。北極や南極の星空を案内します。



©高部哲也

特別展のご案内

2/1(土)~4/6(日)

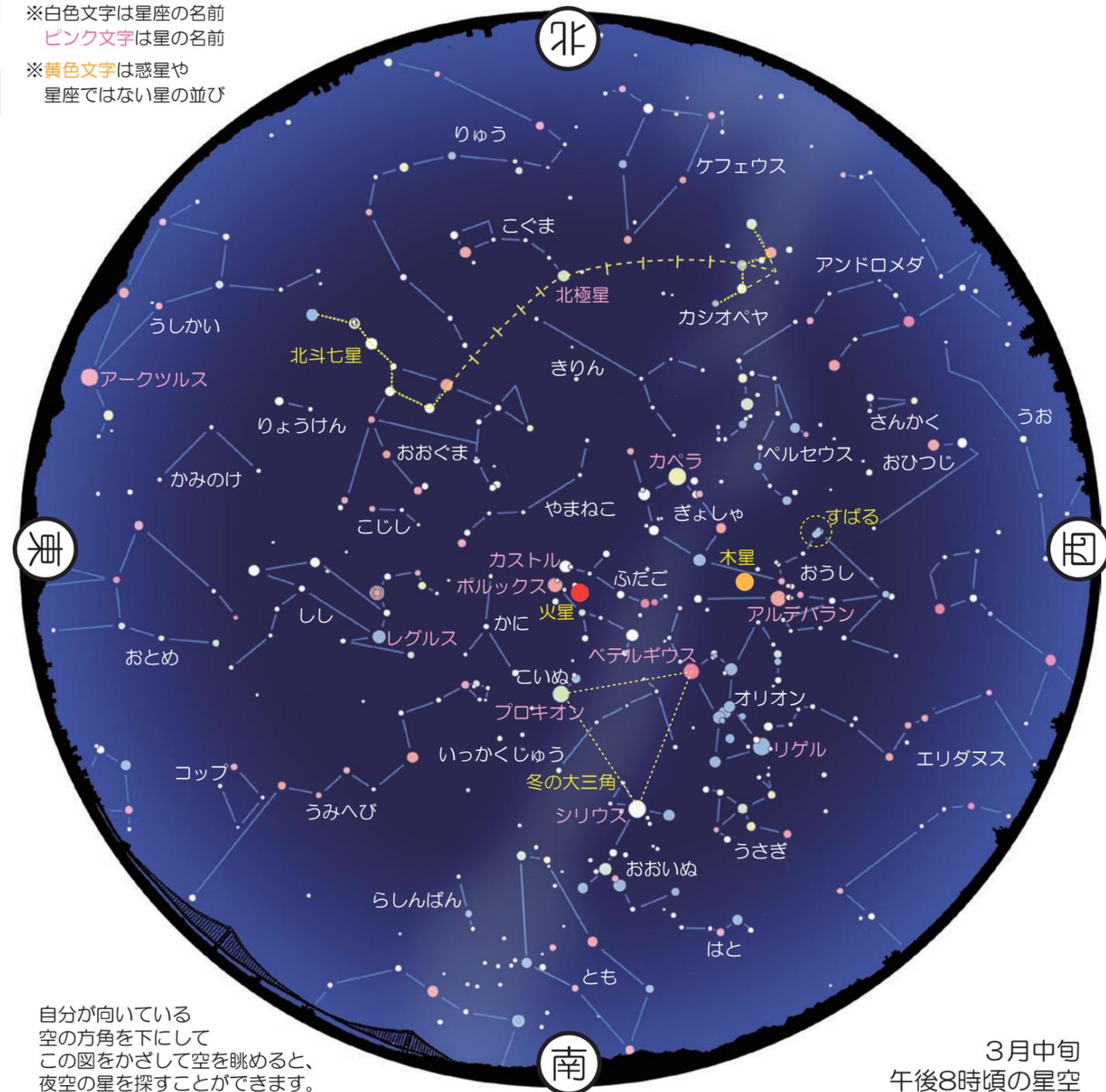
KAGAYA作品展

星空アーティストKAGAYAさんが撮影した美しい写真を展示します。

サザンクロスとサザンライツ ©KAGAYA

時と宇宙の博物館 明石市立天文科学館

※白色文字は星座の名前
ピンク文字は星の名前
※黄色文字は惑星や星座ではない星の並び



自分が向いている空の方角を下にしてこの図をかざして空を眺めると、夜空の星を探ることができます。

3月中旬 午後8時頃の星空

夜の早い時間には、南の空におおいぬ座やこいぬ座、ふたご座など、冬の星座が見つかります。

5日(水)午後10時頃の西の空では、月がプレアデス星団(すばる)の星々を隠していく、プレアデス星団食(すばる食)を見ることが出来ます。オリオンから逃げてきたプレアデスの七姉妹を、月の女神アルテミスが隠したというギリシャ神話を彷彿とさせる天文現象です。

また、24日(月)には約15年に一度の「土星環の消失」が起こりますが、土星が太陽と同じ方向にあるため観測は難しいでしょう。

3月の月の暦

- 7日 上弦
- 14日 望(満月)
- 22日 下弦
- 29日 朔(新月)

3月の日の出・入(明石)

| 日の出 | 日の入 |
|----------|-------|
| 1日 6:29 | 17:56 |
| 15日 6:11 | 18:08 |
| 31日 5:49 | 18:20 |

3月の天文現象

- 1日 月と水星が並び
- 2日 月と金星が並び
- 5日 啓蟄
- 5日 プレアデス星団食(すばる食)
- 6日 月と木星が並び
- 8日 水星が東方最大離角
- 9日 月と火星が並び
- 12日 土星が合
- 14日 北南米で皆既月食(東日本で月出帯食)
- 20日 春分
- 20日 海王星が合
- 23日 金星が内合
- 24日 土星環の消失

4月の天文現象

- 3日 月と木星が並び
- 4日 清明
- 5日 月と火星が並び
- 20日 穀雨
- 22日 水星が西方最大離角
- 22日 こと座流星群が極大
- 25日 月と金星・土星が並び(明け方)
- 30日 月と木星が並び